

NPO法人 CAPD支援機構 主催  
慢性腎臓病患者塾

2009年 9月19日(土曜)

# 知ってほしい。 「慢性腎臓病」と「CAPD」 という治療法

すでに国民病とも言えるほど、その数を増やしている慢性腎臓病(CKD)について、そして大きく進歩を遂げているCAPD(腹膜透析)という治療法についてのお話です。奮ってご参加下さい。

**会場: 弘済会館 4階 会議室【蘭】**

▼ 東京都千代田区麴町5-1 (電話 03-5276-0333 詳細・裏面)

**時間: 午後1時45分～5時(1時15分より受付開始)**

定員 80名 (参加ご希望の方は、裏面のFAXかお電話をください)

参加費 3000円 (お一人につき/同伴のご家族・現在透析治療中の方は無料です)

プログラム(各講演ごとに質問コーナーをご用意しています)

開会挨拶	佐中 孜(さなかつとむ) 先生 東京女子医科大学東医療センター 内科 教授
慢性腎臓病(CKD)について 「ちょっとタンパクが出てるだけ？」 からはじまる慢性腎臓病の怖さ	田村博之(たむらひろゆき) 先生 東京共済病院 腎・内分泌代謝センター センター長
腹膜透析/CAPDについて 「CAPDというオーダーメイド治療が ここまでできる！」	船木威徳(ふなきたけのり) 先生 東京女子医科大学東医療センター 内科・血液浄化部 助教
腹膜透析/CAPDの実際 「いつもの生活の場、職場で そのまま行えるCAPDという治療」	矢野由紀(やのゆき) 先生 貴友会 王子病院 透析室看護師長

実際の腹膜透析の医療機器を触っていただく「体験コーナー」もご用意しております。

主催: NPO法人CAPD支援機構 (東京都荒川区西尾久4-8-10 電話 03-6807-6515 )  
共催: バクスター(株), (株)ジェイ・エム・エス, フレゼニウスメディカルケアジャパン(株),  
テルモ(株), 協和発酵キリン(株), 中外製薬(株), NPO法人東京腎臓病協議会(順不同)

